Information 06

畜産農家の飼養管理技術が高評価
県総合畜産共進会（肉用牛の部）開催

令和6年度宮城県総合畜産共進会（肉用牛の部）は9月6、7の両日、みやぎ総合家畜市場（美里町）で開催され、登米市の出品牛の多くが上位に入賞し、生産者の飼養管理技術が高く評価されました。

【最優秀賞】▼1区（若雌の1）＝2席／ふくやま号／遠藤康浩（迫町）▼2区（若雌の2）＝2席／まっち号／チバズファーム（株）（迫町）▼3区（経産）＝3席／ひめ号／小野寺正人（迫町）▼5区（父系群）＝2席／登米和牛育種組合／さらん号／冨栄隆（米山町）、ひめふく号／守屋和典（迫町）、まきまき号／亀田雄仁（南方町）

【特別賞】前駆賞＝ひめふく号／守屋和典（迫町）

【問い合わせ】産業経済部農政課（畜産振興係）
☎0220（34）2713

第5区（父系群）最優秀賞2席 登米和牛育種組合（左から）まきまき号／亀田雄仁（南方町）、ひめふく号／守屋和典（迫町）、さらん号／冨栄隆（米山町）

Information 07

栽培技術と園芸振興に寄与
市内事業者が全農宮城県本部長賞受賞

令和6年度宮城県園芸振興大会は8月30日、仙台市で開催され、園芸品目の生産、流通、加工および販売など、園芸技術の向上と発展に寄与した団体などが表彰されました。

全農宮城県本部長賞栽培技術部門賞を受賞した、米山町の株式会社たいら（千葉翔太代表取締役）は9月24日、市役所を訪れ、市長に受賞を報告しました。同社は、環境保全米や長ネギ、冬春いちご「もういっこ」などの栽培における、IPM（総合的病害虫管理）など先進技術を導入した取り組みなどが評価されました。千葉代表は、「農業振興のため、周年栽培の確立などにより、就農を目指す若い人たちが働ける環境づくりにも取り組んでいきたい」と話しました。

Information 08

ペットとの楽しい暮らしのために
愛犬と飼主のマナーアップ講座

ペットとより良い関係を築くための実技指導や、しつけ方の個別相談を実施します。

日時	時間	場所
11月16日（土）	午前 9時30分 ～11時30分	吉田公民館
17日（日）		北方公民館

※上靴を持参してください
【募集人数】▶飼犬（中型まで）同伴＝各会場7組（1世帯当たり1組まで。未受講者優先となります）
▶聴講＝各20人まで（申込先着順）
【申込方法】電話、ファクシミリまたは電子メール（住所、氏名、電話番号、会場、人数、犬の名前、改善したい点を明記してください）
【申込期限】各開催日の3日前
【申し込み・問い合わせ】市民生活部環境課（生活環境係）
☎0220（58）5553　FAX 0220（58）3345
✉ kankyo@city.tome.miyagi.jp

Information 09

総合計画策定に向けたワークショップを開催

市では、令和8年度から17年度までを計画期間とする「第三次登米市総合計画」の策定を進めており、今後10年間のまちづくりを市民の皆さんと共に考えるため、ワークショップの参加者を募集します。詳しくは市公式ホームページをご覧ください。

【日時・場所】❶11月27日（水）午後6時30分～8時30分／登米総合支所❷11月28日（木）午後2時30分～4時30分／米山農村環境改善センター❸11月30日（土）午後2時～4時／迫公民館

【申し込み・問い合わせ】まちづくり推進部まちづくり推進課（まちづくり推進係）
☎0220（22）2147

市公式ホームページ「総合計画策定に向けたワークショップ」

Information 10

空き家対策セミナーを開催します

「空き家にはどんな問題があるのか」などをテーマとしたセミナーを開催します。

【日時】11月11日（月）午後2時～4時
【場所】迫公民館（軽運動場）
【講師】住教育インストラクター 桂田彰子氏
【申込期限】11月1日（金）
※電話または電子メールで申し込みください

【申し込み・問い合わせ】まちづくり推進部まちづくり推進課（ふるさと定住係）
☎0220（23）7331
✉ tome-life@city.tome.miyagi.jp

市公式ホームページ「空き家対策セミナー」

環境事業所だより vol. 2

市民の皆さんへ、環境事業所の仕事について、シリーズで紹介しています

可燃ごみの減量化を目指して

令和5年度のごみ処理費は約6億円、1人当たりのごみ処理費は8,400円です。ごみ処理費の削減には、可燃ごみの減量化とリサイクルの取り組みが効果的です。

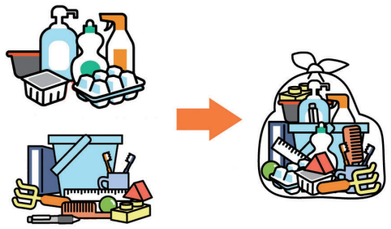
市では、令和4年度にプラスチック製容器包装類を資源ごみに追加。今年4月からは、プラスチック製品類を追加しましたが、現在も可燃ごみとしての排出が見受けられます。プラスチック類や新聞などを資源ごみとして排出すれば、可燃ごみが減り、ごみ袋の購入費やクリーンセンター修繕費などの削減、地球温暖化防止にもつながります。また、資源ごみとして排出された新聞紙やびん、缶などを売却することで、市の収入になり貴重な財源となります。

■プラスチック系ごみはリサイクルステーションへ

【プラスチック製容器包装類】
卵パック、プリン等容器、菓子袋、チューブ、詰替袋、食品パック、ボトルキャップなど

【プラスチック製品類】
プラスチック素材で最長部が20cm以下のもの

【出し方】
▶ごみは小分けにせず、透明または半透明の袋にまとめて入れ、「プラスチック製ボトル」のコンテナに出してください
▶汚れは軽く洗って水を切ってください
▶プラスチックハンガーは、20cmを超えても出せますが、10本程度ずつひもで縛ってください



ごみ分別の詳細は、収集カレンダーをご覧ください。また、「ごみ分別辞典」を市公式ホームページに掲載しています。分別に迷った際にご活用ください。

【問い合わせ】環境事業所廃棄物対策課
☎0220（58）2115